

川西市立学校校区審議会（第7回）次第

日 時 平成27年 4 月 21日（火）
午後5時00分～
場 所 庁議室（川西市役所4階）

- 1 開会
出席者紹介
- 2 委嘱状交付
- 3 議事
 - (1) ① 川西市の学校規模と今後の学校校区のあり方について
 - ② 川西市立小学校の校区に関すること
 - ア 多田グリーンハイツ地区における校区について
 - イ 清和台地区における校区について
 - (2) ① 川西市立幼稚園の園区に関すること
 - 松風幼稚園の廃園に伴う園区の設定について
 - (3) その他
- 4 閉会

川西市立学校校区審議会委員名簿

(選出区分別五十音順、敬称略)

区分	氏名	所属・役職名	備考
学識経験者	ウスイ トモミ 臼井 智美	大阪教育大学准教授	
	スエザワ セイジ 末澤 誠之	弁護士	
	ヤマノウチ ケンシ 山内 乾史	神戸大学大学教育推進機構・国際協力研究科教授	
学校長等	イスイ ココ子 乾 裕子	川西市立幼稚園長会代表	
	カンフ ナオキ 柏 直行	川西市立小学校長会代表	
	イズミ ヒロシ 泉 廣治	川西市立中学校長会代表	
地域の代表	ハラ ケイ子 久原 桂子	牧の台小学校区コミュニティ推進協議会会長	
	フウ マサノリ 後藤 正順	緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会会長	
	ヤスダ スエヒロ 安田 末廣	川西北コミュニティ連絡協議会会長	
保護者の代表	ナカイ ナリサト 中井 成郷	北陵小学校PTA	
	ニシムラ ミチコ 西村 美智子	川西中学校PTA	
	マキタ チヨ子 牧田 千代子	川西北幼稚園PTA	

H27.4.1現在

※所属・役職名については、就任時のものです。

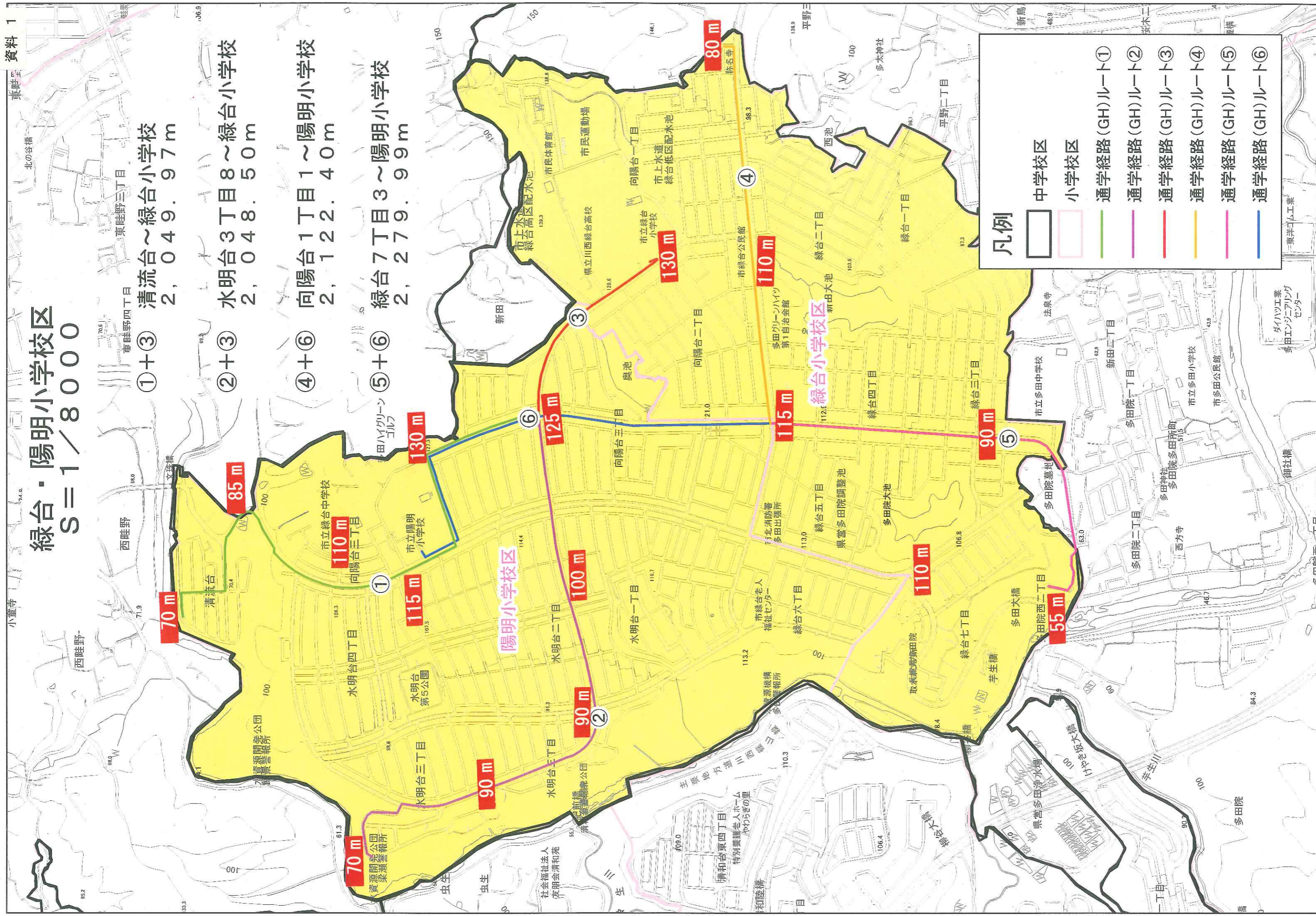
緑台・陽明小学校区 S=1/8000

①+③ 清流台～緑台小学校
2, 049. 97m

②+③ 水明台3丁目8～緑台小学校
2, 048. 50m

④+⑥ 向陽台1丁目1～陽明小学校
2, 122. 40m

⑤+⑥ 緑台7丁目3～陽明小学校
2, 279. 99m



凡例

	中学校区
	小学校区
	通学経路(GH)ルート①
	通学経路(GH)ルート②
	通学経路(GH)ルート③
	通学経路(GH)ルート④
	通学経路(GH)ルート⑤
	通学経路(GH)ルート⑥

清和台・清和台南小学校区

S=1/14000

A+C 石道字上ノ町～清和台南小学校

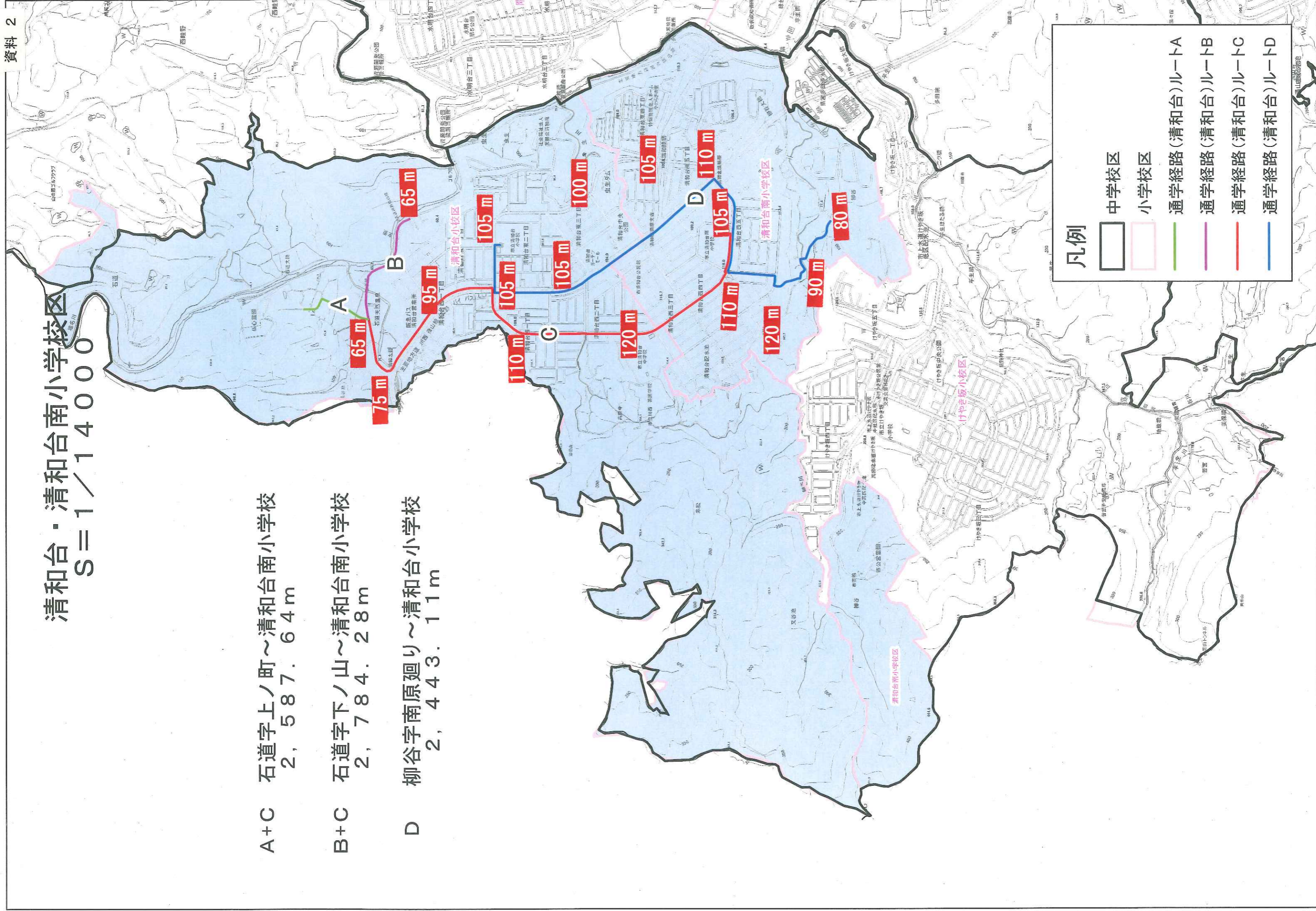
2, 587. 64m

B+C 石道字下ノ山～清和台南小学校

2, 784. 28m

D 柳谷字南原廻り～清和台小学校

2, 443. 11m

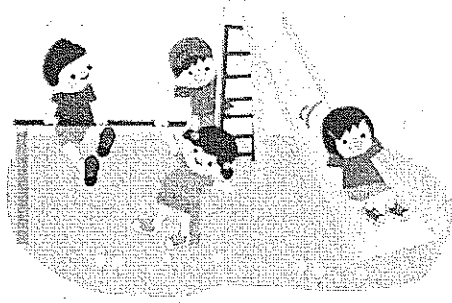


凡例

- 中学校区
- 小学校区
- 通学経路(清和台)ルートA
- 通学経路(清和台)ルートB
- 通学経路(清和台)ルートC
- 通学経路(清和台)ルートD

川西市子ども
子育て計画

市立幼稚園・保育所 再編プランについて



平成27年4月
川西市教育委員会事務局

川西市における幼稚園教育の進め方



公立幼稚園

>自治会立や婦人会立で設立され川西市に引き継がれた幼稚園、地域の要望を受けて川西市が設立した幼稚園がある。



私立幼稚園

>昭和40年以降の大規模団地開発に伴う人口急増時期に、公立幼稚園の設立にあわせて、川西市が誘致したという経緯がある。

【公立・私立の役割】

>公立幼稚園9園、私立幼稚園8園で全市をカバーし、連携を図りながら幼稚園教育の振興に取り組んできた。

>公立園と私立園で公費の充当割合が異なることなどから、3歳児保育は私立幼稚園に委ねるなど、役割を分担してきた。



3

市立幼稚園の状況

平成26年5月1日現在

幼稚園名	所在地	創立 (認可) 年月	園児数(クラス)								定員
			3歳児		4歳児		5歳児		計		
			学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	
久代	久代2丁目	S30.4	-	-	2	32人	2	43人	4	75人	180人
加茂	加茂1丁目	S30.4	2	46人	2	34人	2	45人	6	125人	170人
川西	小花1丁目	S31.1	-	-	1	14人	1	19人	2	33人	120人
川西北	丸の内町	S31.1	-	-	2	34人	1	29人	3	63人	150人
多田	多田院1丁目	S23.7	-	-	1	28人	1	24人	2	52人	150人
松風	水明台1丁目	S49.4	-	-	1	15人	1	20人	2	35人	120人
清和台	清和台東2丁目	S45.4	-	-	2	35人	2	44人	4	79人	180人
東谷	見野2丁目	S18.10	-	-	1	28人	2	50人	3	78人	180人
牧の台	大和東1丁目	S51.4	-	-	1	21人	1	29人	2	50人	120人
計			2	46人	13	241人	13	303人	28	590人	1,370人

4

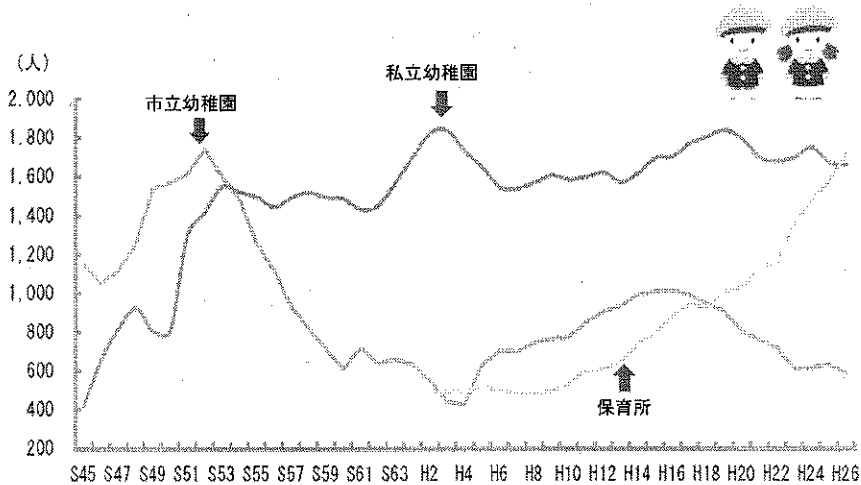
私立幼稚園の状況

平成26年5月1日現在

幼稚園名	所在地	創立年月	園児数(クラス)						定員		
			3歳児		4歳児		5歳児				
			学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数			
鶴之荘	小戸1丁目	T13.4	-	43人	-	36人	-	48人	-	127人	240人
親和	霞ヶ丘1丁目	S46.4	-	43人	-	24人	-	47人	-	114人	200人
藤ヶ丘	湯山台1丁目	S52.4	-	135人	-	125人	-	134人	-	394人	200人
緑台	緑台4丁目	S45.4	-	49人	-	60人	-	67人	-	176人	240人
清和台めぐみ	清和台東4丁目	S50.4	-	70人	-	61人	-	68人	-	199人	310人
新清和台	清和台西4丁目	S52.4	-	83人	-	109人	-	114人	-	306人	300人
平野	水明台4丁目	S51.4	-	26人	-	35人	-	61人	-	122人	360人
美山	美山台3丁目	H2.4	-	72人	-	73人	-	80人	-	225人	260人
計			-	521人	-	523人	-	619人	-	1,663人	2,110人

5

市立・私立幼稚園と保育所の園児数等の推移



6

公立幼稚園の施設の状況について



幼稚園名	構造	階数	延床面積	建築年度	経過年数	Is値	耐震対策
久代幼稚園	RC	2	718 m ²	S44・49	45年	0.54	要
加茂幼稚園	RC	2	613 m ²	S45	44年	0.69	要
川西幼稚園	RC	2	944 m ²	S42	47年	0.37	要
川西北幼稚園	RC	2	644 m ²	S47・50	42年	0.73	
多田幼稚園	RC	2	705 m ²	S49	40年	0.79	
松風幼稚園	RC	2	640 m ²	S49	40年	0.48	要
清和台幼稚園	RC	2	593 m ²	S45・52	44年	0.34	※H26実施済
東谷幼稚園	RC	2	596 m ²	S51	38年	0.79	
牧の台幼稚園	RC	2	596 m ²	S50	39年	0.79	

7

公立幼稚園の活性化について

平成21年度川西市幼児教育問題審議会の答申と対応

答 申	対 応
1学年の学級数は複数が望ましい。	平成 25 年度の 4 歳児クラスでは、9 園中 5 園が単学級となっています。
南部地域において3歳児保育を実施することが望ましい。	平成 24 年度に加茂幼稚園で3歳児保育を実施しました。
内容や条件等を十分検討し、預かり保育を実施することが望ましい。	実施内容の検討や保護者を対象にニーズ調査を実施し、平成 27 年度に試行実施予定です。
各公立幼稚園が特色ある幼稚園づくりを行うとともに、幼稚園と家庭・地域の両方が主体となる幼稚園をめざす。	小学校給食の体験や中学校訪問等の幼小中連携事業を実施しています。 保育所と隣接する幼稚園では、合同行事等で交流を深めています。
適正な学級規模や学級数の確保が困難な場合には、統廃合や廃園も視野に入れて検討する。再編整備にあたっては幼稚園型認定こども園等の活用をめざす。	平成 23 年度末でふたば幼稚園を加茂幼稚園に統廃合しました。

8



1学級の適正人数は
3歳児で20人前後、
4～5歳児で21～30人くらい

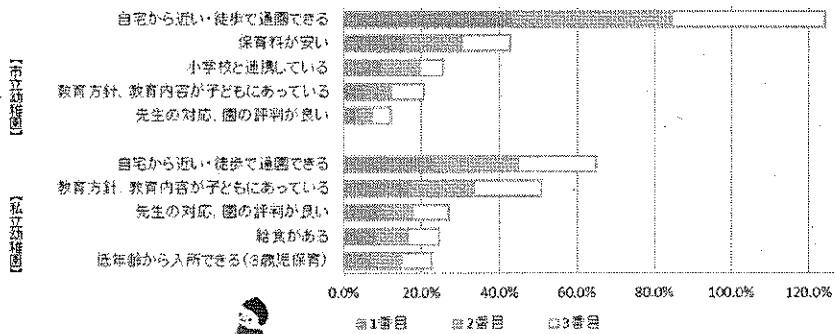


> 幼稚園教育において、園児一人ひとりへの個別の対応を行い、協同性の育ちを培う必要がある。

> 幼児集団の力動関係は遊びの状況によって変化することから、多様な相手を選ぶことができたり、思いを主張し合うことができる規模が必要である。

「幼児集団の形成過程と共同性の育ちに関する研究」
平成24年3月 全国幼児教育研究協会(文部科学省委託)

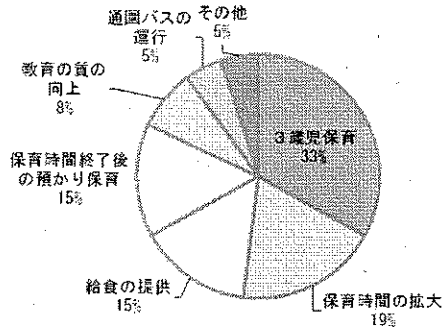
市立幼稚園のあり方等に関するアンケート調査結果① 幼稚園を選ぶときに重視したこと



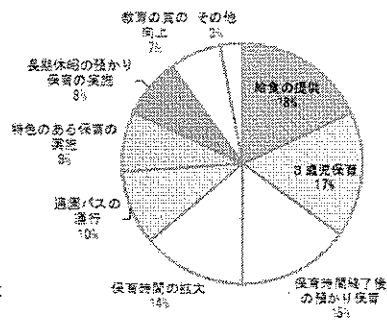
市立幼稚園のあり方等に関するアンケート調査結果② 市立幼稚園が取り組むこと



【市立幼稚園利用者】



【私立幼稚園利用者】



11

市立幼稚園と保育所の課題

(1) 市立幼稚園の園児数の減少

- 平成26年5月現在、市立幼稚園の在籍児童数は590人で、定員に占める割合は43.1%。在籍児童数の減少傾向が続いています。
- 集団教育の観点から一定の集団規模が確保されることが必要です。

(2) 保育所の待機児童の増加

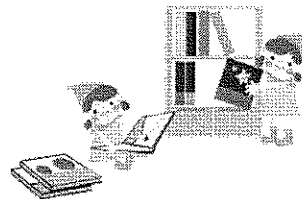
- 入所児童数については平成21年度から26年度にかけて約600人増加しています。施設整備を進めていますが、待機児童が増加しています。

(3) 施設の老朽化への対応

- 市立幼稚園の園舎は建設から38年～47年が、市立保育所は32年～48年が経過し、大規模改修が必要です。

(4) 耐震対策の早期実施

- 耐震対策が必要となる施設は市立幼稚園で全9園中5園、市立保育所で全8所中2所(耐震診断が未了の施設は、他に2所)あります。



12

課題への基本的な対応方針

1. 基本方針

➢ 私立の施設と連携・協力を図りつつ、質の高い教育・保育を必要とするすべての児童に提供するとともに、子育てを支援する地域の拠点となるよう、その一体化を含め、適正な施設の配置を行います。

2. 基本方策

(1) 幼保の一体化を進める施設の配置

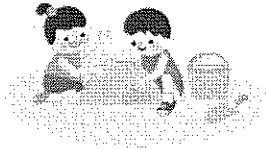
➢ 可能な施設については、幼稚園と保育所の一体化を図り、幼稚園・保育所の良さを活かした幼保連携型認定こども園への移行を推進します。

(2) 拠点施設の整備

➢ 一体化が困難な施設については、集約化を図るなど、地域の拠点となる教育・保育・子育て支援施設として再配置することとします。あわせて、民間法人による整備・運営を検討します。

(3) 安全・安心の施設整備

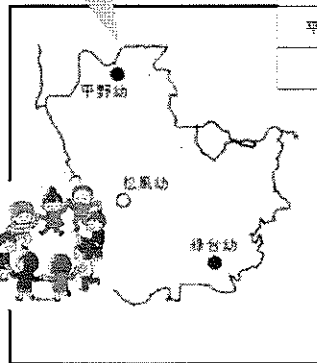
➢ 耐震化対策やバリアフリー化、アレルギー対応の充実等、安全で安心できる施設整備を進めるとともに、一時預かり、地域子育て支援等、多様化する地域の保育ニーズに積極的に対応していきます。



13

グリーンハイツ地区の幼稚園の状況

新たに民間保育所等を整備します



幼稚園名	創立年月	定員	園児数		
			24年度	25年度	26年度
松風幼稚園	S49.4	120	27	33	35
緑台幼稚園	S45.4	240	191	178	176
平野幼稚園	S51.4	360	164	144	122
合計		720	382	355	333

グリーンハイツ地区の児童推計

	27年度	28年度	29年度	30年度
4歳児児童数推計	76	74	60	39
松風幼稚園園児数推計①	15	12	12	6
松風幼稚園園児数推計②	19	19	15	10

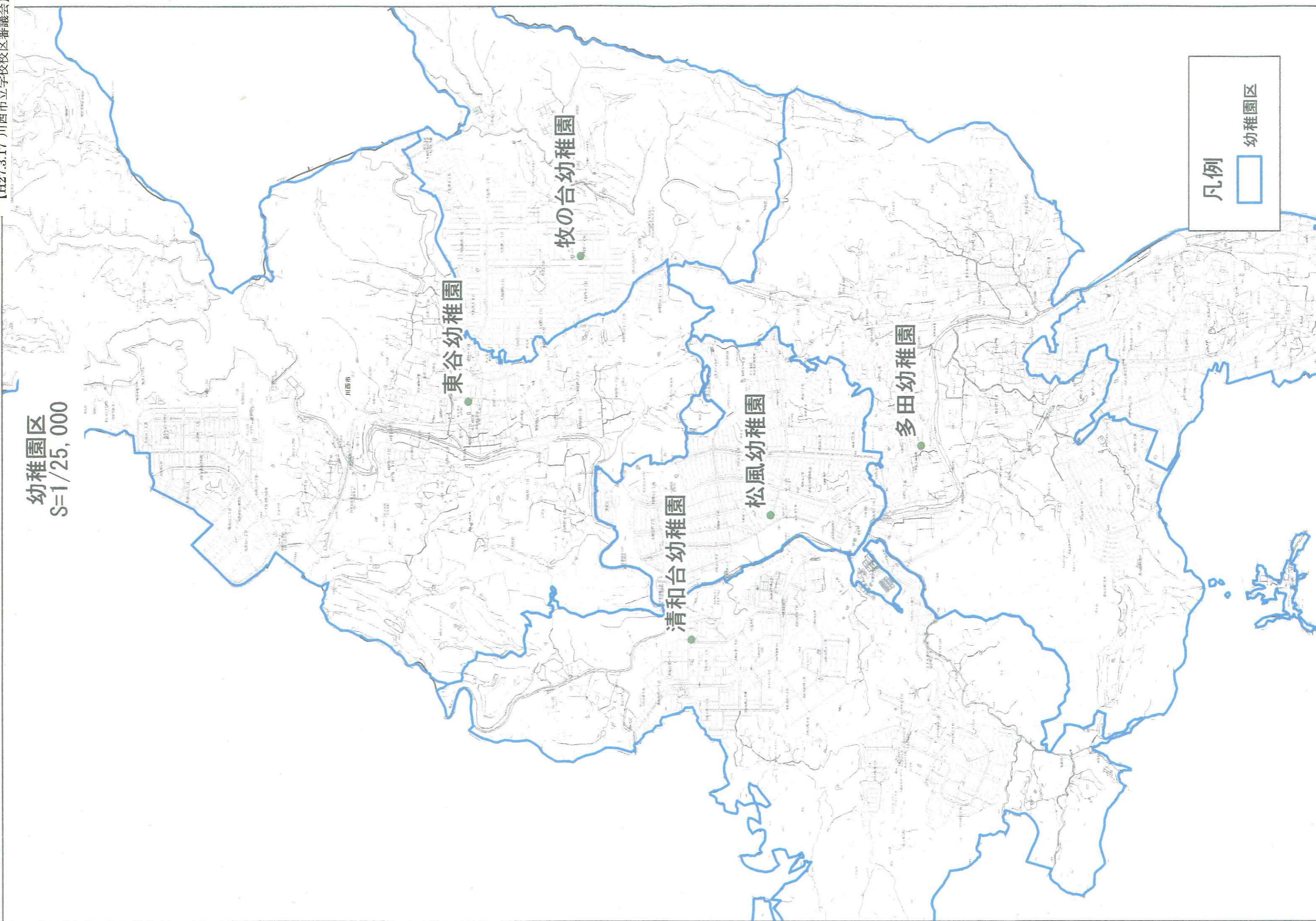
※①は24～26年度の平均入园率(0.164)を適用
②は27年度の入園率(0.25)を適用

14

松風幼稚園区と廃園後の園区

現行			新		
幼稚園名	校区の町名	園区の小学校区	幼稚園名	校区の町名	園区の小学校区
松風幼稚園	向陽台1丁目・2丁目	緑台小学校区 (全部)	多田幼稚園	向陽台1丁目・2丁目	緑台小学校区 (全部)
	緑台1丁目～5丁目			緑台1丁目～5丁目	
	緑台7丁目			緑台7丁目	
	緑台6丁目	陽明小学校区 (全部)		緑台6丁目	陽明小学校区 (全部)
	向陽台3丁目			向陽台3丁目	
	水明台1丁目～4丁目			水明台1丁目～4丁目	
	清流台			清流台	
多田幼稚園	西多田字上平井田	明峰小学校区	多田幼稚園	西多田字上平井田	明峰小学校区
	西多田字湯山裏			西多田字湯山裏	
	西多田字南野山			西多田字南野山	
	西多田1丁目1番・2番			西多田1丁目1番・2番	
	錦松台			錦松台	
	湯山台1丁目・2丁目			湯山台1丁目・2丁目	
	南野坂1丁目・2丁目			南野坂1丁目・2丁目	
	新田	多田小学校区		新田	多田小学校区
	矢間1丁目～3丁目			矢間1丁目～3丁目	
	矢間東町			矢間東町	
	西多田(明峰小学校区除く)			西多田(明峰小学校区除く)	
	西多田1丁目(1番・2番除く)			西多田1丁目(1番・2番除く)	
	西多田2丁目			西多田2丁目	
	多田院(清和台南小学校区を除く)			多田院(清和台南小学校区を除く)	
	新田1丁目～3丁目			新田1丁目～3丁目	
	多田院1丁目・2丁目			多田院1丁目・2丁目	
	多田院多田所町			多田院多田所町	
	多田院西1丁目			多田院西1丁目	
	多田院西2丁目(5番除く)			多田院西2丁目(5番除く)	
	東多田、平野	多田東小学校区		東多田、平野	多田東小学校区
	鼓が滝1丁目～3丁目			鼓が滝1丁目～3丁目	
	東多田1丁目～3丁目			東多田1丁目～3丁目	
	多田桜木1丁目・2丁目			多田桜木1丁目・2丁目	
平野1丁目・3丁目	平野1丁目・3丁目				

幼稚園区
S=1/25,000



凡例



幼稚園区



川西市子ども・子育て計画（案）

川 西 市

平成 27 年 3 月

3 幼稚園・保育所等の状況

(1) 幼稚園の状況

① 幼稚園別園児数

平成 26 年 5 月 1 日現在、市内に幼稚園は 17 園あり、定員の合計は 3,480 人です。

この内市立幼稚園は 9 園で、定員は 1,370 人となっており、入園児童数は 590 人です。市立幼稚園では、定員数に対し入園児童数が大幅に下回っている状況となっています。

また、私立幼稚園は 8 園で、定員は 2,110 人となっており、入園児童数は 1,663 人となっています。

【 市立幼稚園 年齢別園児数 (平成 26 年 5 月 1 日時点) 】

幼稚園名	所在地	創立 (認可) 年月	園児数(クラス)								定員
			3歳児		4歳児		5歳児		計		
			学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	
久代	久代2丁目	S30.4	-	-	2	32人	2	43人	4	75人	180人
加茂	加茂1丁目	S30.4	2	46人	2	34人	2	45人	6	125人	170人
川西	小花1丁目	S31.1	-	-	1	14人	1	19人	2	33人	120人
川西北	丸の内町	S31.1	-	-	2	34人	1	29人	3	63人	150人
多田	多田院1丁目	S23.7	-	-	1	28人	1	24人	2	52人	150人
松風	水明台1丁目	S49.4	-	-	1	15人	1	20人	2	35人	120人
清和台	清和台東2丁目	S45.4	-	-	2	35人	2	44人	4	79人	180人
東谷	見野2丁目	S18.10	-	-	1	28人	2	50人	3	78人	180人
牧の台	大和東1丁目	S51.4	-	-	1	21人	1	29人	2	50人	120人
計			2	46人	13	241人	13	303人	28	590人	1,370人

資料：学務課

【 私立幼稚園 年齢別園児数 (平成 26 年 5 月 1 日時点) 】

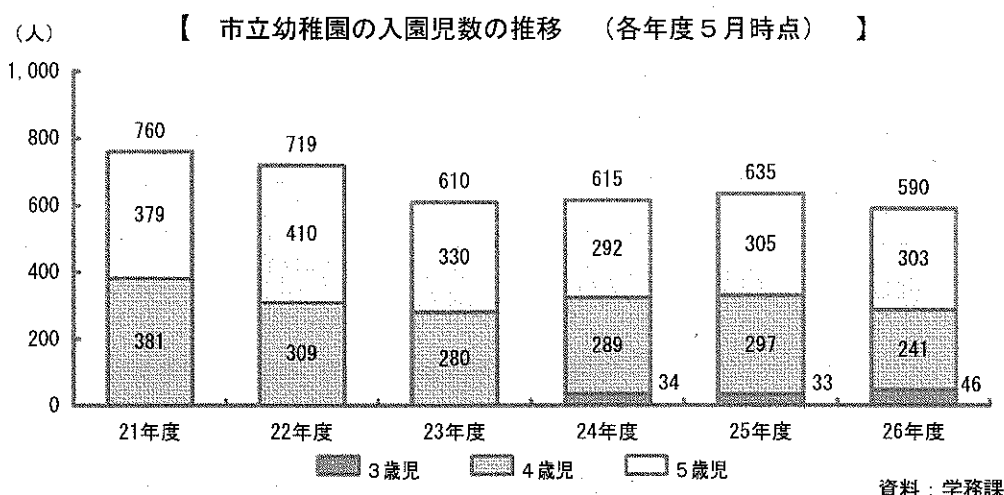
幼稚園名	所在地	創立 年月	園児数(クラス)								定員
			3歳児		4歳児		5歳児		計		
			学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	
鶴之荘	小戸1丁目	T13.4	-	43人	-	36人	-	48人	-	127人	240人
親和	霞ヶ丘1丁目	S46.4	-	43人	-	24人	-	47人	-	114人	200人
藤ヶ丘	湯山台1丁目	S52.4	-	135人	-	125人	-	134人	-	394人	200人
緑台	緑台4丁目	S45.4	-	49人	-	60人	-	67人	-	176人	240人
清和台めぐみ	清和台東4丁目	S50.4	-	70人	-	61人	-	68人	-	199人	310人
新清和台	清和台西4丁目	S52.4	-	83人	-	109人	-	114人	-	306人	300人
平野	水明台4丁目	S51.4	-	26人	-	35人	-	61人	-	122人	360人
美山	美山台3丁目	H2.4	-	72人	-	73人	-	80人	-	225人	260人
計			-	521人	-	523人	-	619人	-	1,663人	2,110人

資料：学務課

② 市立幼稚園の入園児数の推移

平成26年5月の市立幼稚園の定員は1,370人で在籍児童数は590人、定員に占める割合は43.1%です。最も在籍児童数の少ない園は川西幼稚園で定員120人に対し在籍児童数は33人、在籍割合は27.5%。最も在籍児童数の多い園は加茂幼稚園で定員170人に対し在籍児童数は125人、在籍割合は73.5%となっています。

平成24年度から加茂幼稚園で3歳児保育を開始したことなどにより若干の増加はありましたが、市立幼稚園への入園児童数は減少傾向にあります。



③ 市立幼稚園の入園児数の推移

平成26年5月現在、市内に住所を有する児童の私立幼稚園の利用者数は、全体で2,003人です。この内、川西市内の私立幼稚園8園を利用する児童は1,443人で、市外の私立幼稚園を利用する児童は560人です。

【 市内在住児の私立幼稚園所在地別入園児数 (平成26年5月時点) 】

幼稚園所在地	幼稚園数	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児数計	
川西市	8園	1人	451人	448人	543人	1,443人	
他市町	猪名川町	2園	0人	70人	77人	83人	230人
	宝塚市	4園	0人	36人	49人	48人	133人
	能勢町	1園	1人	42人	39人	39人	121人
	伊丹市	5園	0人	14人	16人	19人	49人
	池田市	5園	0人	9人	7人	6人	22人
	豊中市	3園	1人	0人	0人	2人	3人
	尼崎市	1園	0人	0人	1人	0人	1人
	箕面市	1園	0人	0人	0人	1人	1人
他市町計	22園	2人	171人	189人	198人	560人	
合計	30園	3人	622人	637人	741人	2,003人	

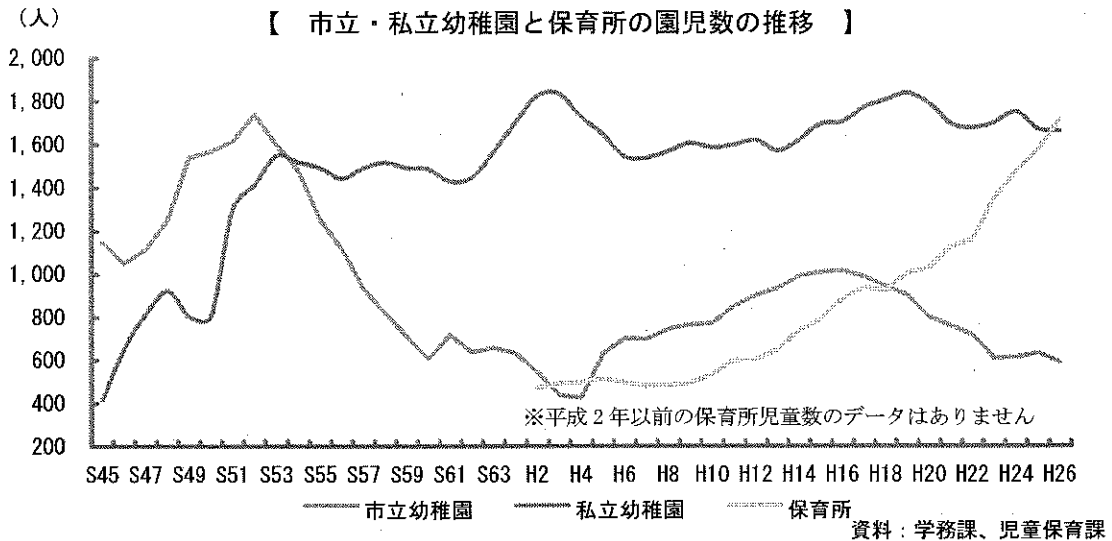
資料：学務課

④ 市立・私立幼稚園と保育所の園児数の推移

市立幼稚園の園児数は昭和52年度の1,740人をピークに減少しました。平成5年度に全園で2年保育を開始し増加に転じた後、平成16年度から再び減少傾向にあります。全体としては、概ね児童数の増減動向と連動して推移しています。

私立幼稚園の園児数は、児童数の減少に関わらずほぼ一定の園児数で推移しています。

市立と私立の保育所の合計児童数は平成18年以降急速な増加傾向にあり、平成26年度には私立幼稚園園児数を上回っています。



(2) 保育所の状況

① 保育所別入所児数

平成26年4月1日現在、市立保育所は8園で定員は600人となっており、入所児童数は618人です。私立保育所は17園（分園3園含む）で定員は1,071人となっており、入所児童数は1,111人です。

【 市立保育所 年齢別入所児数 (平成26年4月1日時点) 】

保育所名	所在地	開所年月	入所児数						計	定員
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
川西	栄根1丁目	S24.7	0人	6人	14人	13人	14人	15人	62人	60人
川西北	出在家町	S35.5	4人	9人	10人	15人	19人	13人	70人	80人
川西南	久代2丁目	S38.5	0人	16人	16人	17人	18人	21人	88人	80人
加茂	加茂1丁目	S45.5	0人	6人	7人	16人	16人	12人	57人	60人
緑	大和西2丁目	S49.5	0人	9人	9人	15人	15人	17人	65人	60人
小戸	小戸3丁目	S52.4	9人	17人	15人	19人	14人	18人	92人	90人
多田	東多田1丁目	S54.4	0人	9人	17人	27人	33人	34人	120人	110人
川西中央	火打1丁目	S57.4	3人	8人	13人	13人	16人	11人	64人	60人
計			16人	80人	101人	135人	145人	141人	618人	600人

資料：児童保育課

【 私立保育所・認定こども園 年齢別入所児数 (平成26年4月1日時点) 】

施設名	所在地	開所年月	入所児数						計	定員
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
ちきゅうっこ	萩原台西1丁目	H14.4	9人	21人	26人	30人	28人	27人	141人	120人
つくしんぼ	大和東3丁目	H15.4	0人	8人	12人	12人	11人	5人	48人	50人
つくしんぼ分園	大和西1丁目	H23.4	5人	0人	0人	-	-	-	5人	10人
川西共同	小戸3丁目	H16.1	8人	14人	19人	16人	17人	18人	92人	80人
川西共同分園	栄町	H26.4	6人	6人	7人	-	-	-	19人	20人
パステル	滝山町	H16.4	10人	23人	24人	25人	27人	29人	138人	120人
畦野こどもの里	東畦野1丁目	H19.1	9人	15人	17人	21人	21人	21人	104人	90人
かわにしひよし	中央町	H20.6	11人	24人	24人	24人	24人	25人	132人	120人
川西けやき坂	けやき坂1丁目	H23.4	8人	15人	18人	18人	16人	19人	94人	80人
多田こどもの森	新田1丁目	H23.4	15人	24人	24人	25人	25人	24人	137人	110人
山子屋	一庫字区田	H23.4	1人	3人	4人	4人	5人	5人	22人	24人
あおい宙川西	久代6丁目	H24.4	14人	17人	18人	17人	10人	8人	84人	90人
エンゼルキッズ清和台	清和台西4丁目	H23.4	4人	15人	19人	-	-	-	38人	45人
エンゼルキッズ山下(分園)	見野2丁目	H24.4	3人	6人	7人	-	-	-	16人	20人
山下教会めぐみ	見野2丁目	H26.4	1人	1人	4人	6人	3人	2人	17人	20人
清和台めぐみ	清和台東4丁目	H26.4	0人	4人	3人	-	-	-	7人	30人
美山保育園	美山台3丁目	H26.4	4人	6人	7人	-	-	-	17人	42人
計			108人	202人	233人	198人	187人	183人	1,111人	1,071人
市立・私立合計			124人	282人	334人	333人	332人	324人	1,729人	1,671人

資料：児童保育課

※ 他市からの受託児童を含む。

② 川西市地域保育園 入園児童数

川西市地域保育園の施設数は、認可保育所への移行や廃園等により減少傾向にありますが、助成対象となる児童数は平成26年度においては65人となっており、就学前児童の保育施設としての役割を担っています。

【川西市地域保育園 入園児童数（各年度4月時点）】

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
対象児童数	89人	97人	81人	67人	74人	65人
地域保育園数	8園	8園	6園	5園	6園	5園

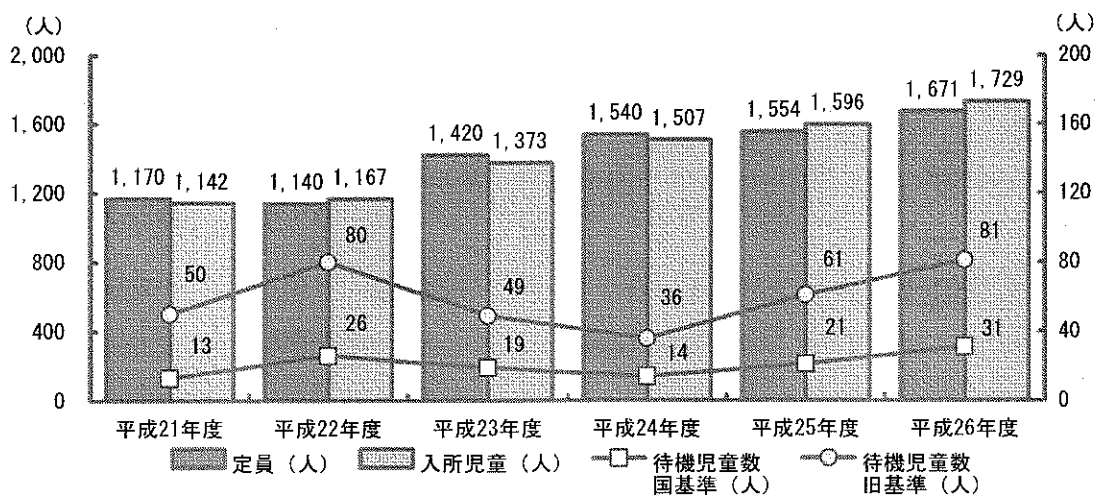
資料：児童保育課

※川西市地域保育園・・・市内の認可外保育施設の内、一定の要件を満たす施設であり、保育所の入所要件を満たす在籍児童数等に応じた助成金の交付対象となる施設

③ 待機児童数の推移

私立の認可保育所の整備等、平成21年度から26年度にかけて概ね500人分の定員増を実施し、待機児童の解消に努めてきましたが解消には至っておらず、平成26年4月の待機児童数は31人(就労希望の者を含めると81人)で、年度末には100人を超えるとみられます。

【 保育所・認定こども園 定員・入所児童・待機児童数の推移（各年度4月時点） 】



資料：児童保育課

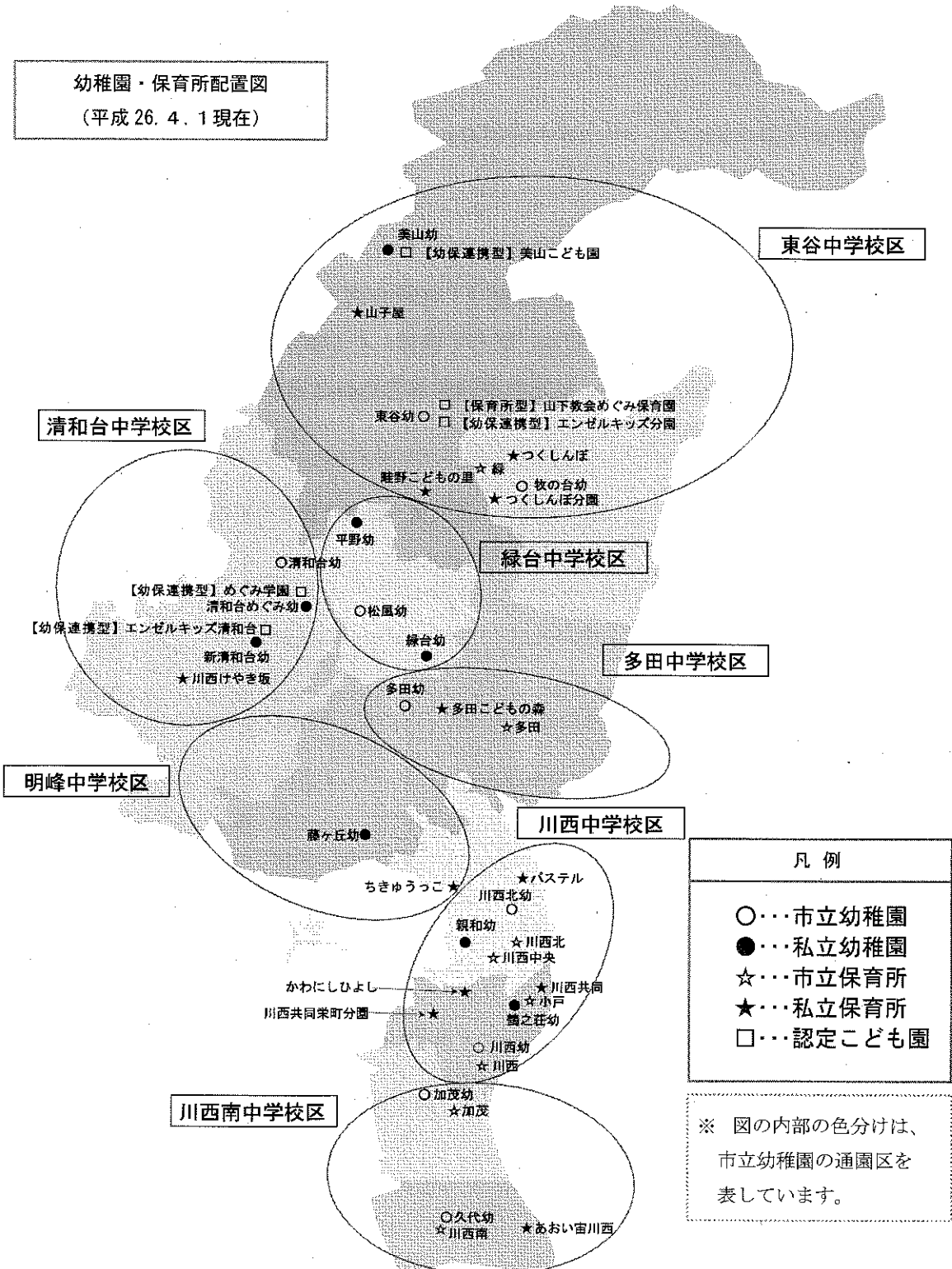
※待機児童・・・調査日時点において、入所申込が提出されており、入所要件に該当しているが、入所していない児童

(3) 幼稚園・認可保育所・認定こども園の配置状況

市立幼稚園は通園区を設定し、市内各所に9園配置されています。また、私立幼稚園は市内各所に5園あり（認定こども園は含まない）、通園バス等の活用により市内外から児童が通っています。

認可保育所は、市内各所に20か所配置され、川西中学校区を中心に南部地域に集積しています。一方で、緑台中学校区には配置されていません。

認定こども園は、清和台中学校区に幼保連携型が2園、東谷中学校区に幼保連携型が1園と分園が1園、保育所型が1園配置されています。



1 市立幼稚園と保育所の現状

(1) 幼稚園の現状と経過

① 現在の状況（詳細な表は20ページを参照）

【 幼稚園の現状の概要（平成26年5月1日現在） 】

	市立幼稚園	私立幼稚園
施設数	9園	8園
定員合計数	1,370人	2,110人
入園児童数	590人	1,663人
定員充足率	43.1%	78.8%

資料：学務課

- ・市立幼稚園と私立幼稚園の入園児童比率は、概ね3：7となっています。
- ・私立幼稚園では認定こども園の認定を受けた園は3園ありますが、市立幼稚園では認定こども園はありません。

② 幼稚園における園児数等の推移（詳細な表は21ページを参照）

- ・市立幼稚園の園児数は昭和52年度の1,740人をピークに減少しました。平成5年度に全国で2年保育を開始し増加に転じた後、平成16年度から再び減少傾向にあります。全体としては、概ね児童数の増減動向と連動して推移しています。
- ・私立幼稚園の園児数は、児童数の減少に関わらずほぼ一定の園児数で推移しています。

③ 平成21年度川西市幼児教育問題審議会の主な答申と対応

平成20年7月、川西市幼児教育問題審議会に対して、園児数の漸減傾向や核家族化の進展等による保育ニーズの多様化する社会的事情へ対応するため「公立幼稚園の活性化」について諮問し、平成21年11月に答申を受けました。この答申により、次のとおり対応を進めてきました。

【 川西市幼児教育問題審議会の主な答申と対応 】

答 申	対 応
1学年の学級数は複数が望ましい。	平成25年度の4歳児クラスでは、9園中5園が単学級となっています。
南部地域において3歳児保育を実施することが望ましい。	平成24年度に加茂幼稚園で3歳児保育を実施しました。
内容や条件等を十分検討し、預かり保育を実施することが望ましい。	実施内容の検討や保護者を対象にニーズ調査を実施し、平成27年度に試行実施予定です。
各公立幼稚園が特色ある幼稚園づくりを行うとともに、幼稚園と家庭・地域の両方が主体となる幼稚園をめざす。	小学校給食の体験や中学校訪問等の幼小中連携事業を実施しています。 保育所と隣接する幼稚園では、合同行事等で交流を深めています。
適正な学級規模や学級数の確保が困難な場合には、統廃合や廃園も視野に入れて検討する。再編整備にあたっては幼稚園型認定こども園等の活用をめざす。	平成23年度末でふたば幼稚園を加茂幼稚園に統廃合しました。

(2) 保育所の現状と経過

① 現在の状況 (詳細な表は22・23ページを参照)

【 保育所の現状の概要 (平成26年4月1日現在) 】

	市立保育所	私立保育所
施設数	8園	17園(うち3分園)
定員合計数	600人	1,071人
入所児童数	618人	1,111人
定員充足率	103.0%	103.7%

資料：児童保育課

・市立保育所と私立保育所の入所児童比率は、概ね4：6となっています。

② 保育所における園児数の推移 (詳細な表は21～24ページを参照)

- ・市立保育所の入所児童数は、平成15年の681人をピークに漸減傾向が続いていましたが平成25年から増加に転じ、平成26年4月現在では8園に618人が通所しています。
- ・市立と私立保育所の合計児童数は平成18年以降急速な増加傾向にあり、平成26年度には私立幼稚園園児数を上回っています。

(3) 市内幼稚園・保育所・認定こども園の配置状況 (配置図は25ページを参照) ●

- ・市立幼稚園は通園区を設定し、市内各所に9園配置されています。
- ・私立幼稚園の8園は、通園バス等の活用により市内外から児童が通っています。
- ・保育所は、川西中学校区を中心として南部地域に集積しています。一方、北部地域の内、中学校区別に見ると緑台中学校区には配置されていません。

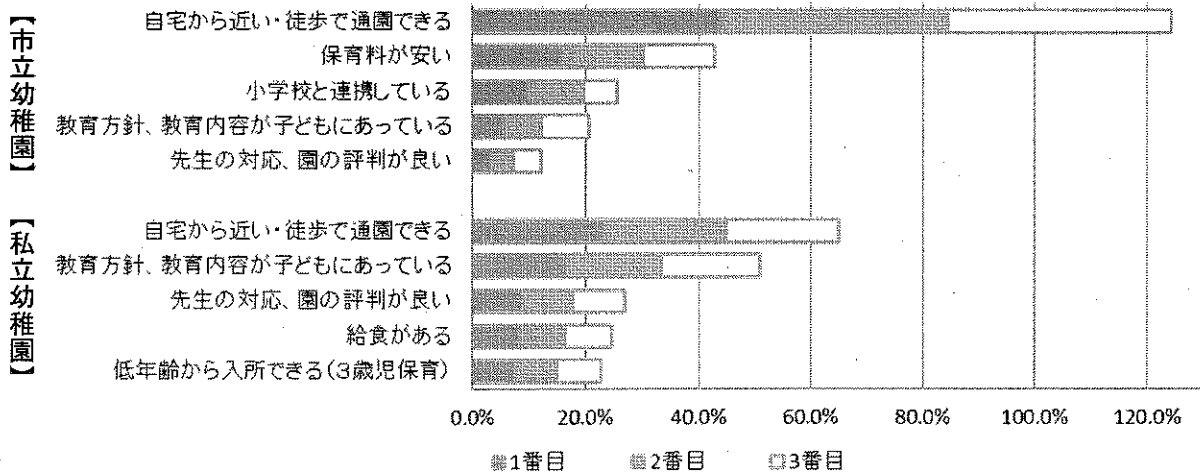
(4) 市立幼稚園のあり方と活性化についてのアンケート結果 ●●●●●●●●●●

平成25年5月に市立幼稚園のあり方や活性化対策を検討するために、市立小学校の1年生児童の保護者を対象に「公立幼稚園のあり方・活性化についてのアンケート」を実施しました。

調査概要	
調査対象	川西市立小学校の1年生児童の保護者
標本数	1,333件
調査方法	調査対象児童の保護者による記入(無記名)
配布方法	各小学校で配付・回収
調査期間	平成25年5月20日～6月7日
回収状況	947件(有効回答率=71.0%)

① 幼稚園を選ぶときに重視したこと

【 幼稚園を選ぶときに重視する1～3番目の要因 】

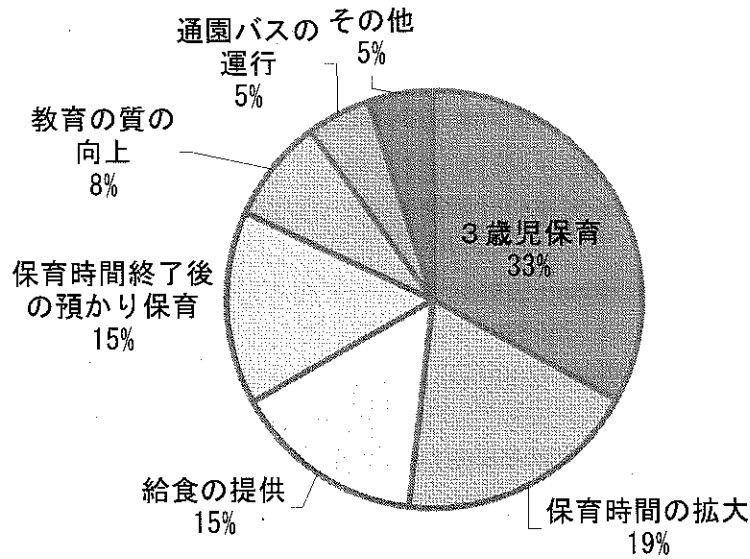


市立幼稚園を選択した理由では、「自宅から近い・徒歩で通園ができる」が最も多く、次いで「保育料が安い」「幼稚園と小学校が連携している」が続いています。

私立幼稚園を選択した理由では、「自宅から近い・徒歩で通園ができる」が最も多く、次いで「教育方針や内容」「先生の対応や評判」と続いています。

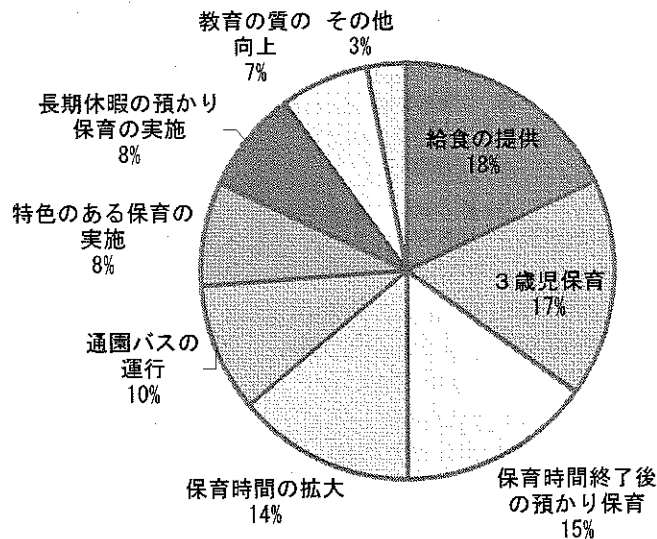
② 市立幼稚園が最も取り組むべきこと

【 市立幼稚園利用者の回答 】



市立幼稚園を利用していた児童の保護者は、「3歳児保育の実施」が最も多く33%、次いで「保育時間の拡大」が19%、「給食の提供」と「保育時間終了後の預かり保育」が15%と続いています。

【 私立幼稚園利用者の回答 】



私立幼稚園を利用していた児童の保護者は、「給食の提供」が18%と最も多く、次いで「3歳児保育」が17%、「保育時間終了後の預かり保育の実施」が15%、「保育時間の拡大」が14%と続いています。

2 市立幼稚園と保育所の課題

(1) 市立幼稚園在籍児童の減少 (詳細な表は20・21ページを参照) ●●●●●●●●

幼児教育問題審議会から、平成21年11月に市立幼稚園の活性化にかかる答申がありました。この答申に基づき、私立幼稚園との協調・連携を保ちながら、市立幼稚園の活性化に取り組んできました。

平成26年5月の市立幼稚園の定員は1,370人で在籍児童数は590人であり、定員に占める割合は43.1%という状況で、在籍児童数の減少傾向が続いています。

最も在籍児童数の少ない園は川西幼稚園で、定員120人に対し在籍児童数は33人、在籍割合は27.5%という状況となっています。集団教育の観点から1学級の適正人数を考えると、ある一定の集団規模が確保されることが必要ですが、他の園も同様にこれを維持することが困難な状況となってきています。

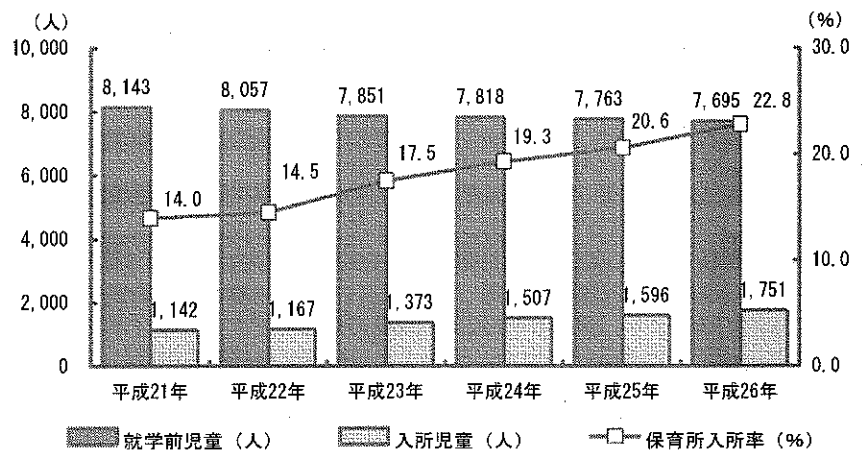
(2) 待機児童の解消 (詳細な表は22～24ページを参照) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

川西市保育所整備計画に基づき、平成21年度から26年度にかけて私立の認可保育所・認定こども園の整備、既存園の定員の見直しにより、概ね500人分の保育所の入所定員を増加してきました。また、施設・人員数等の基準を満たした上で、認可定員よりも多く入所する定員弾力化の取り組みを実施し、保育ニーズに対して柔軟な対応を行ってきました。

一方、入所児童数については平成21年度から26年度にかけて590人程度増加しており、保育施設の利用を希望する家庭は増加しています。このように待機児童対策を実施してきましたが平成26年度においても解消には至っておらず、平成26年4月の待機児童数は31人(就労希望の者を含めると81人)で、10月時点においては既に100人を超えています。将来的に人口推計において児童数は減少する見込みですが、保育ニーズは増嵩が予測

されます。待機児童の解消をめざし、当計画に掲げる確保方策を着実に推進するほか、保育ニーズの動向を的確に捉え、保育の提供体制を適正に確保しなければなりません。

【就学前児童数と保育所入所率の推移 (各年度4月)】



(3) 施設の老朽化への対応

市立幼稚園の園舎は、建設から38年～47年が経過しており、市立保育所は32年～48年が経過しています。施設の老朽化が著しく、児童の快適な教育・保育環境を確保するためには大規模な改修が必要とされます。

(4) 耐震対策の早期実施

Is値(※)が「0.7」を下回り、耐震対策が必要となる施設は市立幼稚園で全9園中5園、市立保育所で全8所中2所(耐震診断が未了の施設は、他に2所)あり、早期に耐震対策を実施する必要があります。

【 市立幼稚園 施設の状況 (平成26年4月現在) 】

幼稚園名	構造	階数	延床面積	建築年度	経過年数	Is値	耐震対策
久代幼稚園	RC	2	718㎡	S44・49	45年	0.54	要
加茂幼稚園	RC	2	613㎡	S45	44年	0.69	要
川西幼稚園	RC	2	944㎡	S42	47年	0.37	要
川西北幼稚園	RC	2	644㎡	S47・50	42年	0.73	
多田幼稚園	RC	2	705㎡	S49	40年	0.79	
松風幼稚園	RC	2	640㎡	S49	40年	0.48	要
清和台幼稚園	RC	2	593㎡	S45・52	44年	0.34	※H26実施済
東谷幼稚園	RC	2	596㎡	S51	38年	0.79	
牧の台幼稚園	RC	2	596㎡	S50	39年	0.79	

【 市立保育所 施設の状況 (平成26年4月現在) 】

保育所名	構造	階数	延床面積	建築年度	経過年数	Is値	耐震対策
川西保育所	木造	1	337㎡	S41	48年		診断未実施
川西北保育所	RC	1	450㎡	S49	40年	0.68	要
川西南保育所	RC	1	450㎡	S45	44年	0.95	
加茂保育所	鉄骨造	2	332㎡	S45	44年		診断未実施
緑保育所	RC	2	331㎡	S48	41年	0.47	要
小戸保育所	RC	1	546㎡	S51	38年	0.95	
多田保育所	RC	1	546㎡	S53	36年	1.25	
川西中央保育所	RC	1	453㎡	S57	32年	-	

※RC・・・鉄筋コンクリート構造

※診断未実施・・・川西保育所及び加茂保育所は建築後の経過年数が長く、構造も考慮して抜本的な対策が必要と認められたため耐震診断を実施していません。

※Is値とは、構造耐震指標のことをいい、地震力に対する建物の強度、靱性(じんせい:変形能力、粘り強さ)を考慮し、建築物の階ごとに算出します。「建築物の耐震改修の促進に関する法律(耐震改修促進法)」の告示により、震度6～7程度の規模の地震に対するIs値の評価については以下のように定められています。

- ・Is値が0.6以上:倒壊または崩壊する危険性が低い
- ・Is値が0.3以上0.6未満:倒壊または崩壊する危険性がある
- ・Is値が0.3未満:倒壊または崩壊する危険性が高い

なお、幼稚園等について、文部科学省の「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」によりIs値が概ね0.7に満たないときは要補強建物判定とされます。

保育所についてもこれを準用し、Is値0.7未満のものについて耐震対策を要するとしています。

3 市立幼稚園と保育所の役割等について

(1) 市立幼稚園と保育所の役割

- ・市立幼稚園・保育所には長い歴史と豊かな経験があり、これにより培われた高度で質の高い教育・保育を通園(所)する児童に提供しています。
- ・やや偏在はあるもののほぼ市内の各地域に施設が配置され、地域の教育・保育の中核的な施設としての役割を担うことが期待されています。
- ・このようなことなどから市立幼稚園・保育所については、私立幼稚園・保育所と相互に協力しつつ互いに補完し、公立の教育・保育施設として必要とするすべての児童に対し一定の質が確保された教育・保育を提供する基盤となる役割を担う必要があります。
- ・ひとり親家庭等の様々な困難を抱える家庭や、障がいやアレルギー等特別な支援が必要な児童を積極的に受け入れるほか、一時預かり事業や子育て相談を実施するなど、多様な教育・保育ニーズに応え、地域における教育・保育、子育て支援の拠点としての役割を果たしていく必要があります。

(2) 市立幼稚園・保育所と私立幼稚園・保育所のバランスのとれた配置

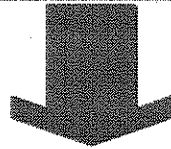
- ・市立幼稚園・保育所の役割を遺憾なく発揮し、私立幼稚園・保育所と相互に協力し補完し合っって子どもたちの健やかな育ちを確かなものとするとともに、子どもたちの最善の利益を確保していかなければなりません。
- ・今後の少子化の進行による児童数の減少を考慮しつつ、その時々々の教育・保育ニーズに適合した公立・私立のバランスを実現していく必要があるといえます。

4 市立幼稚園と保育所の課題への基本的な対応方針

市立幼稚園と保育所が抱える施設の耐震強度や老朽化、市立幼稚園の在籍児童数の減少という課題への対応策は、就学前児童に対する教育・保育や子育て支援へのニーズの変化、今後の児童数の展望や既存の施設の有効活用などを勘案し、以下の方針と方策を定め、これに則って進めていくこととします。

市立幼稚園・保育所のあり方に関する基本方針

市立幼稚園・保育所は、私立の施設と連携・協力を図りつつ、質の高い教育・保育を必要とするすべての児童に提供するとともに、子育てを支援する地域の拠点となるよう、その一体化を含め、適正な施設の配置を行います。



市立幼稚園・保育所のあり方に関する基本方策

○ 幼保の一体化を進める施設の配置

可能な施設については、幼稚園と保育所の一体化を図り、幼稚園・保育所の良さを活かした幼保連携型認定こども園(認定を受けず同様の機能を発揮する場合も含む。以下同じ。)への移行を推進します。

○ 拠点施設の整備

一体化が困難な市立の幼稚園・保育所については、集約化を図るなど、地域の拠点となる教育・保育・子育て支援施設として再配置することとします。あわせて、民間法人による整備・運営を検討します。

○ 安全・安心の施設整備

耐震化対策やバリアフリー化、アレルギー対応の充実等、安全で安心できる施設整備を進めるとともに、一時預かり、地域子育て支援等、多様化する地域の保育ニーズに積極的に応えていきます。

5 市立幼稚園と保育所の一体化のめざすもの

市立幼稚園・保育所が一体化することにより、より質の高い教育・保育を提供していきます。具体的には、以下の項目の実現をめざしていきます。

(1) 幼稚園・保育所の双方の“強み”を合わせた教育・保育の提供

- ・幼稚園が培ってきた幼児期の学校教育、保育所が蓄積してきた生活を基調とした教育・保育。双方の優れた取り組みを合わせつつ、0～5歳の連続性を重視した教育・保育を提供することをめざします。
- ・新たに策定された「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、より多くの子どもたちに質の高い幼児期の学校教育と保育を総合的に提供していきます。

(2) 小学校との接続を重視

- ・市立幼稚園・保育所ともに4・5歳児の児童数が各年齢別で30人以下となる場合が多く見られます。幼稚園と保育所が一体化することで、特に4・5歳児の年齢別の児童数を増加させ、就学に備えた適正な規模の集団形成が可能となります。このことで、多くの友だちと遊ぶことができ、小学校入学後の交友関係もスムーズになると予想されます。
- ・小学校の敷地内や隣接地に設置する等、小学校との接続・連携を強化し、小1プロブレム(※)の解消を図ります。

※小1プロブレム・・・小学校に入学したばかりの小学校1年生が集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの状態が数ヶ月継続する状態のこと。

(3) 年齢別クラス教育・保育と異年齢教育・保育の実施

- ・市立施設として3歳児の学校教育をすべての一体化した施設で提供していきます。また、年齢別のクラス教育・保育を基本としつつも、異年齢の教育・保育を必要に応じて提供し、集団や仲間の中で育つ環境とお互いを思い合う心を育てます。

(4) 安全で安心、快適な環境

- ・施設の新設整備を行うとともに、既存施設を利用する場合においても必要な改修を行い、より安全で安心、快適な教育・保育環境を提供します。

(5) 保護者や地域の子育て支援

- ・3歳児から5歳児は、保護者の就労の有無等に関わらず、通園することができます。
- ・短時間利用の子どもにも給食を提供するほか、車での送迎を認めるなど、保護者の負担を軽減します。
- ・地域における子育て支援の拠点として、子育て相談の窓口になるほか、通園児以外を対象とした一時預かり事業を実施するなど、保護者同士のネットワークづくりの場となります。

6 市立幼稚園と保育所の再編・一体化事業計画

(1) 本計画期間内の取り組みについて

市立幼稚園・保育所のあり方に関する基本方針・基本方策に基づき、本計画期間内においては、以下の4事業について関係者のご意見を踏まえながら、実施環境が整い次第具体的な取り組みを進めていきます。

【 本計画期間に取り組む再編・一体化事業 】

事業名	事業概要
川西南中学校区 市立幼・保一体化 施設整備事業	加茂小学校に隣接する旧加茂小学校跡地等に、加茂幼稚園と加茂保育所を移転し、幼稚園と保育所が一体化した施設を新設整備します。
川西中学校区 市立幼・保一体化 施設整備事業	川西北幼稚園、川西幼稚園、川西北保育所、小戸保育所、川西中央保育所、川西保育所について、規模や立地等を踏まえ、適正な再配置プランを検討し、実施環境が整い次第、速やかに事業化を図ります。
東谷中学校区 市立幼・保一体化 施設整備事業	牧の台小学校の敷地内に緑保育所を移転し、牧の台幼稚園と緑保育所が一体化した施設を整備します。
緑台中学校区 民間保育所等 整備事業	緑台中学校区に新たに民間保育所等を整備し、松風幼稚園については廃園とします。

(2) 今後の課題

上記の再編・一体化事業に計上していない、他の市立幼稚園・保育所についても、基本方針・基本方策に則り、事業化を検討していきます。

【 事業化を検討する幼稚園・保育所 】

久代幼稚園、川西南保育所

さらに、多田幼稚園、清和台幼稚園、東谷幼稚園についても、今後の教育・保育ニーズの推移や教育・児童福祉施策の動向等を総合的に見極め、保育所との一体化や認定こども園化等も含め、各施設のあり方についての検討を進めていきます。